

# 日本の介護で中国

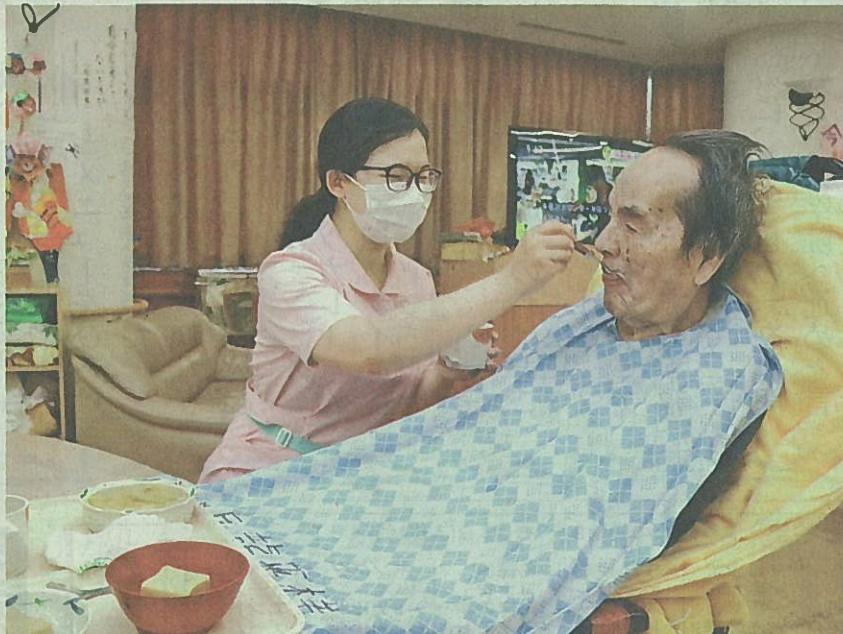
—4—  
ティブになれて、やりがいがある」と流ちょうな日本語で話す。中学生の頃から日本のアニメのファンで、お気に入りは「3月のライオン」や「四月

「おいしい？」入所者を

寧な手つきで口元へ運ぶ。喉の動きを確認しながら、次の一口へ。中国・江蘇省出身の張芸荃さん(23)は1月から、水見市鞍川の老人保健施設「アルカディア水見」で、外国人技能実習生として介護を学んでいる。

# アルカディア氷見 外国人実習生

# ちょう げい せん 張芸軒さん(23)



外国人技能実習生として、入所者の食事を助ける張さん  
||アルカディア水戸

三

## 令和へ一文字

「中国には、日本の介護福祉士のような介護に携われる国家資格がないんです」。デイサービスなどを提供する施設もなく、介護が必要なれば家族で世話をするのが一般的という。ただ、日本同様に少子高齢化が進んでおり、家族だけで面倒を見切れなくなっているのが実情だといふ。「中国でも介護の需要が高まってきてる」と感

張さんには、日本で学んだ技術を中国に持ち帰り、指導として広めたいという夢がある。「日本の介護は、本人残っている力を生かすという考え方で、先進的だと思つ。本のようないい」。その一助となるべる施設が、中国でも増える。張さんは介護の現場とき合い続ける。

(高岡編集部・田辺泉季)

# 現場で先進的技術学ぶ

日本の介護の仕組みや技術をしっかりと吸収し、将来は今よりも優秀な自分になるとなるため、毎日進歩したい。年号が変わることを知らずに来日したので驚いた。中国には日本の文化が好きな若者が多い。令和の時代には、中国と日本が今までよりもさらに良好な関係を築けるといい。

じる。

日本政府は人手不足対策と

2019年5月2日(木)  
北日本新聞朝刊